

教 科 公民

科目 公 共	(必修)	授業時数 2 単位
		履修学年 1 学年

目 標	人間と社会の在り方について、広い視野に立った見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、平和で民主的な国家の形成を担う主権者として必要な資質・能力の育成を目指す。
-----	---

●学習内容

1 学期	2 0 時間	2 学期	3 0 時間	3 学期	2 0 時間
第 1 部 私たちがつくる社会 第 1 章 社会の中の私たち 第 1 節 青年期と社会参画 1 私たちの生きる現代社会 2 青年期について考えよう 4 ジェンダーについて考えよう 5 学ぶことについて考えよう 6 社会参画とキャリアについて考えよう 第 2 節 宗教・思想・文化と社会 1 宗教について考えよう 第 2 章 思想から学ぶべきもの 第 1 節 倫理的な見方・考え方 1 よく生きる 古代ギリシャの思想	14	第 3 章 私たちの社会の基本原則 第 1 節 社会の基本原則と憲法の考え方 1 近代立憲主義の原理 2 近代立憲主義の広がり 3 日本国憲法 4 平等に生きる権利 第 2 部 社会のしくみと諸課題 第 1 章 私たちと法 5 司法の役割 第 2 章 私たちと政治 第 1 節 民主社会と政治参加 1 政治と権力 2 議院内閣制と国会 3 権力分立と行政の役割	16	第 2 章 私たちと政治 第 1 節 民主社会と政治参加 4 地方自治の役割 (松本市議会との交流授業) 6 選挙制度とその課題 第 2 節 国際政治の動向と平和の追求 5 国際連合の役割と活動	12 8

教材
教科書:「707 高等学校 公共」帝国書院 自主作成教材(プリント)

授業の進め方
教科書の各単元の理解に必要な基本的な用語の定義を、背景を踏まえながら確実に定着させる。さらに新聞記事等の文字資料、ニュース・ドキュメンタリー番組等の映像資料に触れさせ、自らの主張を他者と共有、深化する学習活動により、自己理解と他者理解、さらに取り巻く世界環境について考察し生きる力を育成する。

●身に付ける能力とそのレベル

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	私たちが生きる社会(公共的な空間)とその形成について、個人と社会、倫理、憲法、人権の視点で理解しているとともに、関連する基本用語を身に付けている。	法や政治に関わる主体として、公共的な空間に関する課題を発見し、将来にわたる持続可能性の観点に基づいて解決する力を身に付けている。	より良い公共空間をつくるひとりの市民として、社会に参画する力の向上を目指して自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
	習得する (わかる)	私たちが生きる社会(公共的な空間)とその形成について、関連する基本用語を理解している。	法や政治に関わる主体として、公共的な空間に関する課題を発見し、解決する力を身に付けている。	より良い公共空間をつくるひとりの市民として、社会に参画する力の向上を目指して、協働的に取り組む態度を身に付けている。
評価方法		定期考査・課題・ノート・授業観察	定期考査(記述・論述)・課題・ノート・授業観察	課題・ノート等の提出状況、授業に取り組む姿勢。

単元別 評価規準

私たちの生きる現代社会

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	私たちの生きる現代社会がどのような社会であるかを理解し、その知識を活用して時事問題を考えることができる。	現代の社会についての諸資料を比較・判断し、現代社会や日本が直面する変化についてまとめ、みずからの意見や主張を分かりやすく表現している。	現代の社会について自ら学び、課題の解決策についてのグループ討議に主体的かつ協働的に取り組んでいる。
	習得する (わかる)	私たちの生きる現代社会がどのような社会であるかを理解している。	現代の社会についての諸資料を比較・判断し、現代社会や日本が直面する変化についてまとめることができる。	現代の社会について自ら学び、課題の解決策についてのグループ討議に、協働的に取り組んでいる。

青年期について考えよう

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	青年期とは人生の周期の中でどのような時期であり、その特徴を示す言葉の意味を理解し、自己のアイデンティティに気づくことができる。	青年期を理解する資料を収集し、青年期の発達課題について思考・判断し、その内容について分かりやすく表現している。	青年期の発達課題について、自らの問題として進んで興味・関心を持ち、意欲的に理解しようとしている。
	習得する (わかる)	青年期とは人生の周期の中でどのような時期であり、その特徴を示す言葉の意味を理解している。	青年期を理解する資料を収集し、青年期の発達課題について思考・判断することができる。	青年期の発達課題について、自らの問題として意欲的に理解しようとしている。

ジェンダーについて考えよう

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	ジェンダー、LGBT など多様な性のあり方を考えるための基本的な概念を理解し、これらについての日本や世界の現状について思いを巡らそうとしている。	男女共同参画社会の資料を収集し、両性の本質的平等の現状について思考・判断し、みずからの意見や主張を分かりやすく表現している。	多様な性による多様性豊かな社会の実現のためには何が必要かについて進んで興味・関心を持ち、意欲的に理解しようとしている。
	習得する (わかる)	ジェンダー、LGBT など多様な性のあり方を考えるための基本的な概念を理解している。	男女共同参画社会の資料を収集し、両性の本質的平等の現状について思考・判断することができる。	多様な性による多様性豊かな社会の実現のためには何が必要かについて、意欲的に理解しようとしている。

学ぶことについて考えよう

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	近代科学の精神など、学ぶことの考察に必要な知識を理解するとともに、AIの時代にペーコンの帰納法が再評価されていることを理解している。	人はなぜ学ぶのかという問いに対して学ぶことの意義に関する資料を収集し、学び続けることの大切さについて思考・判断し、みずからの意見を表現できる。	AIの時代においても、人間的に豊かなための生涯学習の重要性について進んで興味・関心を持ち、意欲的に理解しようとしている。
	習得する (わかる)	近代科学の精神について理解し、学ぶことの考察に必要な知識を理解し、身につけている。	人はなぜ学ぶのかという問いに対して学ぶことの意義に関する資料を収集し、学び続けることの大切さについて思考・判断することができる。	AIの時代においても、人間的に豊かなための生涯学習の重要性について、意欲的に理解しようとしている。

社会参画とキャリア教育について考えよう

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	働くことの意義について、社会参画と自己実現との関係を考察するための知識を理解し、身につけている。	社会との関わり方を知る資料を収集し、働くことの意義や、自己の職業選択に関して思考・判断し、みずからの意見や主張を分かりやすく表現している。	働くことと社会参画・自己実現について、自らの問題として進んで興味・関心を持ち、意欲的に理解しようとしている。
	習得する (わかる)	社会参画と自己実現について、その関係を考察するための知識を理解している。	社会との関わり方を知る資料を収集し、働くことの意義や、自己の職業選択に関して思考・判断することができる。	働くことと社会参画・自己実現について、自らの問題として意欲的に理解しようとしている。

宗教について考えよう

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	世界宗教としてのキリスト教・イスラーム・仏教の理解に必要な知識を理解し、身につけている。	人々の生活と宗教の関わりの資料を収集し、宗教が人々の生活にもたらすものについて思考し、その内容を分かりやすく表現している	21 世紀の世俗化した世界における宗教の持つ意義を理解し、異なる宗教観を持つ人々が共生していくための寛容な精神に進んで興味・関心を持ち、意欲的に理解しようとしている。
	習得する (わかる)	世界宗教としてのキリスト教・イスラーム・仏教の理解に必要な知識を理解している。	人々の生活と宗教の関わりの資料を収集し、宗教が人々の生活にもたらすものについて思考・判断することができる。	21 世紀の世俗化した世界における宗教の持つ意義を理解し、異なる宗教観を持つ人々が共生していくための寛容な精神の重要性を意欲的に理解しようとしている。

よく生きる～古代ギリシャの思想

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	先哲の思想(古代ギリシャの3人の思想家(ソクラテス・プラトン・アリストテレス))を現代社会で生きる立場から考察するために必要な知識を理解し、身につけている。	生きることに関する資料に触れ、よく生きることにについて幸福と正義のあり方から思考・判断し、その内容を意見としてわかりやすく表現している。	よく生きるということについて、自らの問題として進んで興味・関心を持ち、意欲的に理解しようとしている。
	習得する (わかる)	先哲の思想(古代ギリシャの3人の思想家(ソクラテス・プラトン・アリストテレス))を現代社会で生きる立場から考察するために必要な知識を理解している。	生きることに関する資料に触れ、よく生きることにについて幸福と正義のあり方から思考・判断することができる。	よく生きるということについて、自らの問題として意欲的に理解しようとしている。

近代立憲主義の原理

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	近代立憲主義とはどのような考え方であるか、3人の社会契約思想家の考え方などの基本的な理解を踏まえ、民主主義、基本的人権の尊重、権力分立、法の支配など、近代憲法を構成する諸原則に関する知識を身につけている。	近代立憲主義の考え方をを用いて、国づくりにおける憲法制定や法の支配の重要性などについて判断し、みずからの意見や主張を分かりやすく表現している。	立憲主義について、自らの問題として進んで興味・関心を持ち、意欲的に理解しようとしている。今日においても憲法改正を通して長期政権化を進める権力者が見られることなど、今日の世界情勢に関心を持っている。
	習得する (わかる)	近代立憲主義とはどのような考え方であるかを、民主主義、基本的人権の尊重、権力分立、法の支配などの、近代憲法を構成する諸原則に関する知識として理解している。	近代立憲主義の考え方をを用いて、国づくりにおける憲法制定や法の支配の重要性を思考・判断できる。	立憲主義について、自らの問題として意欲的に理解しようとしている。

近代立憲主義の広がり

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	近代立憲主義のあゆみに関する基本的な理解を踏まえ、普通選挙の意義、自由国家と福祉国家、全体主義などに関する知識を身につけている。	近代立憲主義と民主主義、君主制と共和制などに関する基本的な考え方をを用いて、安定した政治体制のあり方などについて判断し、みずからの意見や主張を分かりやすく表現している。	近代立憲主義の広がりについて、自らの問題として進んで興味・関心を持ち、意欲的に理解しようとしている。
	習得する (わかる)	近代立憲主義のあゆみに関する基本的な理解を踏まえ、普通選挙の意義、自由国家と福祉国家、全体主義などについて理解しておく。	近代立憲主義と民主主義、君主制と共和制などに関する基本的な考え方をを用いて、安定した政治体制のあり方などについて思考・判断できる。	近代立憲主義の広がりについて、自らの問題として意欲的に理解しようとしている。

日本国憲法

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	敗戦から、GHQ と日本政府による大日本帝国憲法の見直しに至る経緯についての基本的な理解を踏まえ、日本国憲法の基本原則に関する知識を身につけている。	最高法規としての憲法の位置付けに関する基本的な考え方をを用いて、憲法改正手続きの妥当性などについて思考・判断し、みずからの意見や主張を分かりやすく表現している。	現行憲法の三大原理誕生の歴史的過程について、今日的な問題として進んで興味・関心を持ち、意欲的に理解しようとしている。
	習得する (わかる)	敗戦から、GHQ と日本政府による大日本帝国憲法の見直しに至る経緯についての基本的な理解を踏まえ、日本国憲法の基本原則に関する知識を理解している。	最高法規としての憲法の位置付けに関する基本的な考え方をを用いて、憲法改正手続きの妥当性などについて思考・判断できる。	現行憲法の三大原理誕生の歴史的過程について、今日的な問題として意欲的に理解しようとしている。

平等に生きる権利

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	平等権とは何か、など平等権と差別に関する基本的な理解を踏まえ、差別の現実と差別解消に向けた取り組みに関する知識を身につけている。	平等権に関する基本的な考え方にに基づき、現実社会の差別事例と差別解消の重要性などについて思考・判断し、みずからの意見や主張を分かりやすく表現している。	平等権とそれを脅かす差別について、自らの問題として進んで興味・関心を持ち、意欲的に理解しようとしている。
	習得する (わかる)	平等権とは何か、など平等権と差別に関する基本的な理解を踏まえ、差別の現実と差別解消に向けた取り組みに関する知識を理解している。	平等権に関する基本的な考え方にに基づき、現実社会の差別事例と差別解消の重要性などについて思考・判断できる。	平等権とそれを脅かす差別について、自らの問題として意欲的に理解しようとしている。

司法の役割

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	国民には裁判を受ける権利があり、そのために司法制度がどのようになっているか、また三審制に関する基本的な理解を踏まえ、司法全般に関する知識を身につけている。	司法権の独立などの基本的な考え方をを用いて、違憲審査のあり方について思考・判断し、みずからの意見や主張を分かりやすく表現している。	主権者として裁判員制度などについて、自らの問題として進んで興味・関心を持ち、意欲的に理解しようとしている。
	習得する (わかる)	国民には裁判を受ける権利があり、そのための三審制などの司法制度のしくみがどのようになっているか、司法全般に関する知識を理解している。	司法権の独立などの基本的な考え方をを用いて、違憲審査のあり方について思考・判断している。	主権者として裁判員制度などについて、自らの問題として意欲的に理解しようとしている。

政治と権力

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	政治権力は何のため、誰のためにあるのかを、政治の定義を踏まえ、法の支配の原理を活用して、代表民主制と国民主権の考えを背景に考察するための知識を理解し、身につけている。	代表民主制の考えに基づき、政治的無関心がどこから生まれ、どうすれば克服できるかを考察、判断し、国民の政治参加や権力への監視について、みずからの意見や主張を分かりやすく表現している。	どうしたら国民主権の政治を実現できるかについて、自らの問題として進んで興味・関心を持ち、意欲的に理解しようとしている。
	習得する (わかる)	政治権力は何のため、誰のためにあるのかを、政治の定義を踏まえ、法の支配の原理を活用して、代表民主制と国民主権の考えを背景に考察するための知識を理解している。	代表民主制の考えに基づき、政治的無関心がどこから生まれ、どうすれば克服できるかを考察、判断している。	どうしたら国民主権の政治を実現できるかについて、意欲的に理解しようとしている。

議院内閣制と国会

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	議院内閣制の考え方の上に立って日本の国会のしくみ、法律の制定、二院制の特徴を、三権の関係の中で考察するための知識を理解し、身につけている。	日本の国会の課題とその対応について理解し、改善すべき点や課題として捉えるべき内容について、みずからの意見や主張を分かりやすく表現している。	国会の課題と現状について、主権者として進んでニュース、時事問題に興味・関心を持ち、意欲的に理解しようとしている。
	習得する (わかる)	議院内閣制の考え方の上に立って日本の国会のしくみ、法律の制定、二院制の特徴を、三権の関係の中で考察するための知識を理解している。	日本の国会の課題とその対応について理解し、改善すべき点や課題として捉えるべき内容を考察できる。	国会の課題と現状についてのニュース、時事問題を意欲的に理解しようとしている。

権力分立と行政の役割

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	権力分立の考え方を踏まえ、行政(内閣)には、どのような役割と課題があるかを、理解し、日々のニュースで行政の動きを知ることができる。	アメリカの大統領制などと比較しながら、わが国の行政への評価や問題について思考・判断し、行政の課題について、みずからの意見や主張を分かりやすく表現している。	三権の中では内閣が持つ行政権が強くなりがちであることについて、国民主権の立場から自らの問題として進んで興味・関心を持ち、意欲的に理解しようとしている。
	習得する (わかる)	権力分立の考え方を踏まえ、行政(内閣)には、どのような役割と課題があるかを、理解している。	アメリカの大統領制などと比較しながら、わが国の行政への評価や問題について思考・判断できる。	三権の中では内閣が持つ行政権が強くなりがちであることについて、国民主権の立場から、自らの問題として意欲的に理解しようとしている。

地方自治の役割

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	地方自治における、国などの中央政治とは違う役割としくみについての知識を理解し、身につけ、身近な地域の出来事やニュースに関心を持てる。	地方自治が持つ「直接民主制」的な性格を理解し、身近な地域の課題について、自らの意見や主張を積極的に分かりやすく表現している。	身近な地域の課題について、自らの問題として進んで興味・関心を持ち、議員に対し、積極的な提言ができる。
	習得する (わかる)	地方自治における、国などの中央政治とは違う役割としくみについての知識を理解し、身につけている。	地方自治が持つ「直接民主制」的な性格を理解し、身近な地域の課題について、自らの意見や主張を持つことができる。	身近な地域の課題について、議員と自由な意見交流ができる。

選挙制度とその課題

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	政治参加の権利(参政権)と日本の選挙制度のしくみについて、特徴と課題を指摘するために必要な知識を身につけている。	参政権を行使する適切な方法について思考し、現行制度の理解の上に立って、その制度の課題を指摘し民意を反映するためのしくみや制度について、みずからの意見や主張を分かりやすく表現している。	有権者が自らの意思にもとづいて投票することが、国民主権や議会制民主主義を支える意識を持ち、国政選挙の際などには、進んで興味・関心を持ち、模擬投票などに意欲的に参加するため、情報の収集に努める。
	習得する (わかる)	政治参加の権利(参政権)と日本の選挙制度のしくみについて、特徴と課題を指摘するために必要な知識がわかる。	参政権を行使する適切な方法について思考し、現行制度の理解の上に立って、その制度の課題を指摘し民意を反映するためのしくみや制度について、思考・判断できる。	選挙の重要性を理解し、国政選挙の際などには、興味・関心を持ち、模擬投票などに意欲的に参加しようとする。

国際連合の役割と活動

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	国連がどのような歴史的過程で設立されたのか、国連の役割と組織について必要な知識を身につけている。	国連が解決すべき課題にはどのようなものがあるかを判断し、具体的な対応についての、みずからの意見や主張を分かりやすく表現している。	国益を越えた人類益の実現を図る取り組みが国連にはあることに気付き、自らの問題として進んで国際問題に興味・関心を持ち、意欲的に理解しようとしている。
	習得する (わかる)	国合がどのような歴史的過程で設立されたのか、国連の役割と組織について必要な知識がわかる。	国連が解決すべき課題にはどのようなものがあるかを判断し、具体的な対応について思考・判断できる。	国益を越えた人類益の実現を図る取り組みが国連にはあることに気付き、意欲的に理解しようとしている。